

令和5年度の中央病院の取り組み方針

病院事業管理者：南都 伸介

事務局長：楠本 博紀

中央病院の役割

市の病院事業は、市民の生命、健康を日々お守りすることが最大の使命です。また、市立病院の機能として重視していることは、充実した急性期医療と、頻度の高い疾患に対して安全・確実に高レベルな医療をお届けすることです。

今後も、当院は阪神圏域における救急体制の充実、悪性疾患に対する高度な医療の提供、さらに流行性の疾患に対する迅速かつ適切な対応に取り組んでいきます。

令和5年度の重点目標

中央病院と県立西宮病院が統合する新病院の建設は、令和5年3月に建築業者がようやく決定し、工事が始まります。現在の目標である令和8年度上期の新病院開院に向けて取り組みを進めます。

また、新病院の開院までの中央病院の診療体制は、現体制を原則維持しながら、診療を継続します。現有の施設・設備を適切に補修・維持運用しながら、統合までの間、各種検査や手術患者の受入れなどにも積極的に対応します。診療科目や患者情報は、新病院に継承しますので、現在、当院をご利用されている皆様に安心して受診していただけることを改めて周知していきます。

市民の皆様へのメッセージ

今後、新型コロナウイルス感染症の影響がどのようになるのか見通せない状況において、安全・安心な医療サービスの提供をどう継続していくかが現状の大きな課題です。

当院では、十分な感染症対策の下で一般診療を継続していますので、安心してご利用ください。

今後も中央病院が、病院をご利用いただく患者の方々はもとより、市民や地域の医療機関の皆様信頼される病院として、責務を全うしてまいります。

